

## 農山漁村男女共同参画優良活動表彰開催要領

## 1 目的

農山漁村において女性は、農業就業人口の過半を占めているとともに、起業活動等により、地域において活躍している。しかしながら、農業委員や農協役員等に占める女性の割合は低く、地域の指導的立場への女性の登用は進んでいない。

政府として、「2020年までに指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度」とすることを目指しており、他分野に比べ遅れている農山漁村において、女性の登用を進めることが急務である。

このため、次世代を担う地域リーダーとなることが見込まれている若手女性及び女性の参画を積極的に推進している組織等を表彰することにより、農山漁村における男女共同参画の取組の推進に資するものとする。

## 2 主催団体等

主催：農山漁村男女共同参画推進協議会

後援：農林水産省

協力：全国酪農青年女性会議

## 3 開催期日等

主催団体等は、毎年度別に定めるところにより、募集、審査及び表彰式を実施する。

## 4 表彰の種類

## (1) 次世代を担う若手地域リーダー部門

## ① 経営参画部門

農林水産大臣賞 1点

農林水産副大臣賞 2点

農林水産大臣政務官賞 2点

## ② 地域参画部門

農林水産大臣賞 1点

農林水産副大臣賞 2点

農林水産大臣政務官賞 2点

## (2) 組織における女性登用部門

農林水産大臣賞 2点

農林水産副大臣賞 2点

農林水産大臣政務官賞 2点

## 5 参加者の資格

## (1) 次世代を担う若手地域リーダー部門

農山漁村女性が経営参画・社会参画を行っていく上で身近なモデルとなりうる取組を行っている者であり、かつ、今後地域の担い手として期待される農林水産業に従事する若手女性個人または若手女性を中心とするグル

ープ。個人の場合、農林漁業に5年以上15年未満従事し、活動実績を有する女性で、年齢の目安として45歳未満の者。グループの場合、構成員の半数以上が45歳未満であること。

なお、①又は②のいずれかに応募するものとするものとし、同じ内容のものを同時に両部門へ応募することはできないものとする。

① 経営参画部門

農林漁業経営において、起業活動や経営の一部門を担うなど、経営に主体的に参画し、活動している若手女性または若手女性を中心としたグループ

② 地域参画部門

自身の農林漁業経営を基本として、農山漁村地域における若手女性リーダーとして活動している女性または若手女性を中心としたグループ

(2) 組織における女性登用部門

役員等への女性登用に積極的に取り組み、実績を有している農業協同組合、JA女性組織協議会、農業委員会、漁業協同組合、森林組合、共済組合等(以下「農林水産関係団体」という。)及び都道府県、市町村、女性組織(生活研究グループ、JA女性部、女性農業委員の組織等)等、または、農林水産関係団体における役員等への女性登用に積極的に取り組み、実績を有している個人。

6 推薦の手続きとその内容

(1) 次世代を担う若手地域リーダー部門

都道府県及び市町村(都道府県経由で推薦)、全国もしくは都道府県の農林水産関係団体の代表者が、優秀と認められる個人またはグループを推薦する。

(2) 組織における女性登用部門

都道府県及び市町村(都道府県経由で推薦)、全国もしくは都道府県の農林水産関係団体の代表者が、優秀と認められる組織または個人を推薦する(参加者資格を有する者による自薦も可)。

## 平成25年度農山漁村男女共同参画優良活動表彰について（実施要領）

表彰の実施に関しては、「農山漁村男女共同参画優良活動表彰開催要領」によるものとしますが、推薦等の手続きについては次のとおり実施します。

### 1. 推薦関係書類の提出期限・提出先

#### (1) 提出期限

**平成25年9月13日（金）必着（第二次締め切り）**

（募集告知日：平成25年6月17日）

#### (2) 提出先

農山漁村男女共同参画推進協議会（以下協議会という）事務局  
 一般社団法人農山漁村女性・生活活動支援協会  
 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館4階  
 電 話 03-5777-5383 F A X 03-5777-5385

### 2. 推薦関係書類の内容

#### (1) 参加部門の内容

次の2部門の内容例を参考に、Ⅰ、Ⅱいずれかの部門を選択してください。Ⅰの部門を選択した場合は、さらに①、②の部門を選択してください。

#### Ⅰ. 次世代を担う若手地域リーダー部門

農山漁村女性が経営参画・社会参画を行っていく上で身近なモデルとなりうる取組を行っている者であり、かつ、今後地域の担い手として期待される農林水産業に従事する若手女性または若手女性を中心とするグループ。個人の場合、農林漁業に5年以上15年未満従事し、活動実績を有する女性。年齢の目安は45歳未満。グループの場合、グループの中心が若手女性で、構成員の半数以上が45歳未満であること。

##### ①経営参画部門

農林漁業経営において、起業活動や経営の一部門を担うなど、経営に主体的に参画し、活動している若手女性または若手女性を中心とするグループ。

##### ②地域参画部門

自身の農林漁業経営を基本として、農山漁村地域における若手女性リーダーとして活動している女性または若手女性を中心とするグループ。

#### Ⅱ. 組織における女性登用部門

役員等への女性登用に積極的に取り組み、実績を有している農業協同組合、JA女性組織協議会、農業委員会、漁業協同組合、森林組合、共済組合等（以下「農林水産関係団体」という。）及び都道府県、市町村、女性組織（生活研究グループ、JA女性部、女性農業委員の組織等）等、または、農林水産関係団体における役員等への女性登用に積極的に取り組み、実績を有している個人。

### 3. 協議会への推薦までの手続き

#### (1) 市町村長等（※）から推薦する場合

市町村長等からの推薦については、市町村長等から都道府県へ推薦していただいた後、都道府県の女性・高齢者担当課等または各団体の都道府県組織で了解確認を行った後、都道府県の女性・高齢者担当課等または各団体の都道府県組織から協議会に推薦していただきます。

市町村長と都道府県の組織の長は、4の提出書類を作成し、都道府県の女性・高齢者担当課等へ、その他のJA組合長、森林組合長、漁業協同組合長、農業委員会の長等は、各団体の都道府県組織へ提出してください。

(※) 「市町村長等」には、市町村長、都道府県地方振興事務所長（農林事務所長、林業事務所長等）、地域農業普及指導センター所長、水産業改良普及所長、JA組合長、森林組合長、漁業協同組合長、農業委員会の長等を想定しています。

(2) 都道府県、全国または都道府県の農林水産関係団体の代表者からは、直接推薦することができます。

(3) II. 組織における女性登用部門については、参加者資格を有する者による自薦も受け付けます。

#### 4. 提出書類の種類

##### I. 次世代を担う若手地域リーダー部門

###### ア. 市町村長等からの推薦

(ア) 市町村長等による推薦理由書（別紙様式I-1） \*公印省略可

(イ) 「I. 次世代を担う若手地域リーダー部門」表彰推薦調書

・個人を推薦する場合…別紙様式I-2A

・グループを推薦する場合…別紙様式I-2B

(ウ) 経営の収支状況が分かる資料（様式任意）

(エ) 最新の家族経営協定の写し（様式任意）（個人を推薦する場合で、家族経営協定を締結している場合）

(オ) グループの規約またはそれに準ずるもの（様式任意）（グループを推薦する場合で、該当するものがある場合）

(カ) グループの歴年活動表（様式任意）（グループを推薦する場合）

(キ) 構成員名簿

・個人を推薦する場合…別紙様式I-3A

・グループを推薦する場合…別紙様式I-3B

###### イ. 都道府県、全国または都道府県の農林水産関係団体の代表者からの推薦

(ア) 「I. 次世代を担う若手地域リーダー部門」表彰推薦調書

・個人を推薦する場合…別紙様式I-2A

・グループを推薦する場合…別紙様式I-2B

(イ) 経営の収支状況が分かる資料（様式任意）

(ウ) 最新の家族経営協定の写し（様式任意）（個人を推薦する場合で、家族経営協定を締結している場合）

(エ) グループの規約またはそれに準ずるもの（様式任意）（グループを推薦する場合で、該当するものがある場合）

- (オ) グループの歴年活動表（様式任意）（グループを推薦する場合）
- (カ) 構成員名簿
  - ・個人を推薦する場合…別紙様式Ⅰ－３Ａ
  - ・グループを推薦する場合…別紙様式Ⅰ－３Ｂ

## Ⅱ. 組織における女性登用部門

### ア. 市町村長等からの推薦

- (ア) 市町村長等による推薦理由書（別紙様式Ⅱ－１） \*公印省略可
- (イ) Ⅱ. 組織における女性登用部門」推薦調書
  - ・組織を推薦する場合…別紙様式Ⅱ－２－１、Ⅱ－３の両方
  - ・個人を推薦する場合…別紙様式Ⅱ－２－２、Ⅱ－３の両方
- (ウ) 女性登用に関する取組実績（被推薦者の取組内容により以下の様式を選択）
  - ・被推薦組織または被推薦個人が女性登用に取り組んだ組織が「農林漁業関係協同組合」の場合 …別紙様式Ⅱ－４－１
  - ・被推薦組織または被推薦個人が女性登用に取り組んだ組織が「都道府県・市町村」の場合 …別紙様式Ⅱ－４－２
  - ・被推薦組織または被推薦個人が女性登用に取り組んだ組織が「農業委員会」の場合 …別紙様式Ⅱ－４－３
  - ・被推薦組織または被推薦個人が女性登用に取り組んだ組織が「女性組織」の場合 …別紙様式Ⅱ－４－４

### イ. 都道府県、全国または都道府県の農林水産関係団体の代表者からの推薦

- (ア) Ⅱ. 組織における女性登用部門」推薦調書
  - ・組織を推薦する場合…別紙様式Ⅱ－２－１、Ⅱ－３の両方
  - ・個人を推薦する場合…別紙様式Ⅱ－２－２、Ⅱ－３の両方
- (イ) 女性登用に関する取組実績（被推薦者の取組内容により以下の様式を選択）
  - ・被推薦組織または被推薦個人が女性登用に取り組んだ組織が「農林漁業関係協同組合」の場合 …別紙様式Ⅱ－４－１
  - ・被推薦組織または被推薦個人が女性登用に取り組んだ組織が「都道府県・市町村」の場合 …別紙様式Ⅱ－４－２
  - ・被推薦組織または被推薦個人が女性登用に取り組んだ組織が「農業委員会」の場合 …別紙様式Ⅱ－４－３
  - ・被推薦組織または被推薦個人が女性登用に取り組んだ組織が「女性組織」の場合 …別紙様式Ⅱ－４－４

### ウ. 参加者資格を有する者による自薦

イの書類と同様です。

(注1) 提出資料はA4判サイズとし、正1部、副4部、計5部を作成し、様式番号順にそろえ、1部ずつ一括左肩隅を綴じて提出してください。

(注2) 都道府県、全国もしくは都道府県農林漁業関係団体の代表者は、別紙様式はすべて**CD—RW 1枚に収録**して提出してください。

提出CDの表面には、部門名、都道府県名、または団体名を明記してください。CDは原則として返却しませんのでご了承ください。

5. 表彰個人または組織の発表

表彰個人または組織が決定次第、都道府県、団体等に通知します。

6. 表彰式

平成26年3月6日（木）（予定）

（農山漁村女性の日シンポジウムのプログラムの中で実施予定）

7. その他

（1）推薦する個人・団体は本年度内に全国規模のコンクール、表彰事業等へ未参加であること、および本年度内に全国規模の褒章、叙勲等の栄典を授与されていないこととします。

（2）表彰式参加のための往復の交通費、宿泊費については、誠に恐縮ながら、各自のご負担でのご参加をお願い申し上げます。ご参加いただけない場合は、後日賞状をお送りさせていただきます。

ただし、農林水産大臣賞受賞者の4名の方々（次世代を担う若手地域リーダー部門2名、組織における女性登用部門2名）につきましては、活動内容を表彰式当日にご発表いただくこととしております。そのため、往復の交通費、宿泊費（1泊）については、当協議会で負担いたします。

\*個人情報の取り扱いに関しましては、当協会の規定に従い、安全に保護・管理することに努め、目的（表彰事業に関わる審査・事務処理、表彰資料集への掲載）以外には使用いたしません。

担当：農山漁村男女共同参画推進協議会事務局

（一社）農山漁村女性・生活活動支援協会／森 眞理子

電話：03-5777-5383 F A X：03-5777-5385

メール mori@weli.or.jp

\*ご要望により応募様式をメールにて送信します。表彰の名称、部門名を明記の上、メールにてご請求ください。

様式請求先：mori@weli.or.jp（森）

(別紙様式 I — 1)

〈個人・グループ推薦共通〉

農山漁村男女共同参画優良活動表彰  
I. 次世代を担う若手地域リーダー部門

市町村長等による推薦理由書

※市町村長等が「次世代を担う若手地域リーダー部門」候補を推薦する場合はこの様式に推薦理由を記載し、市町村長と都道府県の組織は、都道府県の女性・高齢者担当課等へ、その他のJA組合長、森林組合長、漁業協同組合長、農業委員会の長等は、各団体の都道府県組織へ提出をお願いします。

被推薦者・個人またはグループ名 ( )

推薦機関名	推薦者氏名  推薦者役職
印省略	

(\*) 「市町村長等」には、市町村長、都道府県地方振興事務所長(農林事務所長、林業事務所長等)、地域農業普及指導センター所長、水産業改良普及所長、JA組合長、森林組合長、漁業協同組合長、農業委員会の長等を想定しています。

農山漁村男女共同参画優良活動表彰  
I. 次世代を担う若手地域リーダー部門

表彰推薦調書 (個人)

応募部門 (○印)	①経営参画部門	②地域参画部門
氏名	生年月日及び年齢	
フリガナ	西暦 年 月 日 歳 (平成 25 年 3 月 31 日現在)	
連絡先		
住所 〒 —		
TEL	FAX	E-mail
所属 (団体等に所属している場合には記入して下さい)		
団体等名 フリガナ		
所在地 〒 —		
TEL	FAX	E-mail
家族経営協定締結の有無		
( ) 締結している ( ) 締結していない * 締結している場合 ①初めて締結した年 (昭和・平成 年) ②協定の見直しの回数 ( ) 回 * 締結している場合は、最新の家族経営協定の写しを必ず添付してください。		
経営規模・主たる生産品目	受賞歴	
略歴 (職歴、活動歴等)		
※ 農林水産業に就業した年を明記して下さい。		



活動の内容	
1 取組を始めた経緯	
2 取組の特徴（具体的内容、経営や地域活動における自身の役割等）	
3 経営や地域活動における自身の目標、将来展望	
4 地域への貢献度（地域の農林水産業を担う人材として期待されていること、若者にとってのモデル的存在としての活躍 等）	
経営の収支状況が分かる資料	
有 無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営の収支状況が分かる資料を添付する。</li> <li>・無い場合は（ ）に売上を記入する。</li> </ul> 2010年度（ 千円） 2011年度（ 千円） 2012年度（ 千円）
推薦都道府県・団体等名	推薦者氏名  推薦者役職  <div style="text-align: right;">印省略</div>
窓口事務担当者の所属・職名 氏名・電話番号	



グループ活動の内容

1 グループとしての取組を始めた経緯

2 取組の特徴（具体的内容、中心となる若手女性の活動内容 等）

3 グループとしての目標、将来の展望

4 地域への貢献度（地域の農林水産業を担うグループとして期待されていること、若者にとってのモデル的存在としての活躍 等）

推薦都道府県・団体  
等名

推薦者氏名

推薦者役職

印省略

窓口事務担当者の  
所属・職名  
氏名・電話番号







**別紙様式Ⅱ—3（組織・個人共通）p.1**

（注）以下の1～6の項目については、被推薦組織、または被推薦者が女性登用に取り組んだ組織の24年度もしくは直近の状況について記入して下さい。

**1. 女性登用に関する基本方針・登用目標等**

**2. 最近における女性の登用促進に向けた具体的な取り組み**

**3. 女性の位置づけ、役割、活動内容など**

別紙様式Ⅱ—3（組織・個人共通）p.2

4. 女性の登用状況（具体的な数字で示す。例：組織内の〇〇委員会 25 名の内 3 名が女性委員）

5. 女性の登用がもたらした効果（地域や組織への貢献など）（なるべく定量的に数字等で示してください。数字等で示せない場合は、できるだけ具体的に詳しく記載してください。箇条書きも可）

例（以下のような、具体的な事例も交えて記述して下さい）

- ・女性理事の提案から、〇〇の取組を行ったことにより、直売所の売上が〇%増加した。
- ・女性農業委員が〇〇に働きかけ、学校給食への地元食材の納入がスタートした（月〇回、又は月〇kg）
- ・女性農業委員の発案により、遊休農地対策として、地元幼稚園や小学校を対象とした体験農園を実施し、耕作放棄地〇〇haの有効活用につながった。

6. 女性登用に関する今後の方針



**別紙様式Ⅱ—4—1（農林漁業関係協同組合用）p.1**

※被推薦組織、または被推薦者が女性登用に取組んだ組織について記入してください※

1. 協同組合の組合員の概況（24年度）

	正組合員	准組合員	計
個人			名
団体			団体

2. 次の（1）～（6）の各項目についてご記入ください。

（1）正組合員数（個人）について

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
女性正組合員数(a)					
組合の正組合員数(b)					
女性の割合(a/b、%)					

（備考）女性の割合が大きく変化した年度について、以下にその理由を簡単に記入してください。

（2）総代数について

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
女性総代数(a)					
組合の総代数(b)					
女性の割合(a/b、%)					

（備考）女性の割合が大きく変化した年度について、以下にその理由を簡単に記入してください。

（3）役員数について

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
女性理事数(a)					
女性経営管理委員数 (b)					
女性監事数(c)					
女性役員数(d) (a+b+c)					
全役員数(e)					
女性の割合(d/e、%)					

（備考）女性の割合が大きく変化した年度について、以下にその理由を簡単に記入してください。

(4) 女性組織メンバー数について

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
女性組織メンバー数					
うち若手組織メンバー数					

(備考) メンバー数が大きく変化した年度について、以下にその理由を簡単に記入してください。

3. その他の特記事項

**別紙様式Ⅱ—4—2（都道府県・市町村用） p.1**

\*被推薦組織、または被推薦者が女性登用に取組んだ組織について記入してください\*

1. 農山漁村女性ビジョンの策定状況

農山漁村女性ビジョンの有無（○で囲む）	有	無
有る場合、計画の名称	策定年度：	

2. 男女のパートナーシップに関する主要指標・目標

目標設定年度	目標年度	J A女性 役員 (目標)	女性農業委 員 (目標)	審議会等 女性委員 (目標)	女性起業活動 数(グループ・ 個人) (目標)	家族経営 協定件数 (目標)	女性認定 農業者 (目標)	備考

(備考) 上記以外の指標・目標があれば以下に記入してください。

3. 農業協同組合における女性役員について

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
女性役員数(a)					
全役員数(b)					
女性の割合(a/b、%)					
管内農業協同組合数					
うち女性役員がない組織数					
うち女性役員が複数いる組織数					

(備考) 女性の割合が大きく変化した年度について、以下にその理由を簡単に記入してください。

4. 女性農業委員について

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
女性農業委員数(a)					
全農業委員数(b)					
女性の割合(a/b、%)					
管内農業委員会数					
うち女性農業委員がない 農業委員会数					
うち女性農業委員が複数いる 農業委員会数					

(備考) 女性の割合が大きく変化した年度について、以下にその理由を簡単に記入してください。

## 別紙様式Ⅱ—4—2（都道府県・市町村用）p.2

### 5. 農林水産業関係審議会等における女性委員数について

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
女性審議会委員数(a)					
全審議会委員数(b)					
女性の割合(a/b、%)					

(備考) 審議会の名称を以下に書いてください。また、女性の割合が大きく変化した年度についてその理由を簡単に記入して下さい。

### 6. 女性起業数

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
グループ起業数					
個人起業数					
合計					

(備考) 数字が大きく変化した年度について、以下にその理由を簡単に記入してください。

### 7. 家族経営協定締結農林漁家数

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
協定締結数					

(備考) 数字が大きく変化した年度について、以下にその理由を簡単に記入してください。

### 8. 認定農業者における女性数について

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
女性認定農業者数(a)					
全認定農業者等数(b)					
女性の割合(a/b、%)					

(備考) 女性の割合が大きく変化した年度について、以下にその理由を簡単に記入してください。

別紙様式Ⅱ—4—2（都道府県・市町村用） p.3

9. 議会における女性議員数について

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
女性議員数(a)					
全議員数(b)					
女性の割合(a/b、%)					

(備考) 女性の割合が大きく変化した年度について、以下にその理由を簡単に記入してください。

10. 指導農業士等における女性数について

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
女性指導農業士等数(a)					
全指導農業士等数(b)					
女性の割合(a/b、%)					

(備考) 女性の割合が大きく変化した年度について、以下にその理由を簡単に記入してください。

※女性農業士等、女性に限定した認定制度がある場合は、その名称と人数を記入してください。

名称					
	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
認定されている人数					

(備考) 数字が大きく変化した年度について、以下にその理由を簡単に記入してください。

11. 課長相当職以上の職員について

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
課長相当職以上の女性数(a)					
課長相当職以上の総数(b)					
女性の割合(a/b、%)					

(備考) 女性の割合が大きく変化した年度について、以下にその理由を簡単に記入してください。

12. その他の特記事項

### 別紙様式Ⅱ—4—3（農業委員会用）

\*被推薦組織、または被推薦者が女性登用に組み込んだ組織について記入してください\*

#### 1. 農業委員の構成

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
全女性農業委員数(a)					
内 (選挙委員数)					
内 (選任委員数)					
全農業委員数(b)					
女性の割合(a/b、%)					

(備考) 女性の割合が大きく変化した年度について、以下にその理由を簡単に記入してください

#### 2. 女性農業委員の登用に目標を設けているか

女性農業委員登用の目標 (○で囲む)		有	無
有る場合、目標値	%	目標値到達予定年度	

(備考) 目標達成のために、どのような方策を行うか、以下に具体的に記入してください。

#### 3. その他の特記事項

## 別紙様式Ⅱ—4—4（女性組織用）p.1

\*被推薦組織、または被推薦者が女性登用に組み込んだ組織について記入してください\*

### 1. 構成員数

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
正会員数					
その他の会員数（賛助会員等）					
合 計					
上記の内、男性会員数					

（備考）数に大きな変化があった場合は、その理由を以下に記入してください。

2. 女性の役員登用について農業協同組合に働きかけを行ったことがありますか。ある場合はその組織名と、働きかけの結果、増えた女性役員数を記入してください。

働きかけを行った組織名	働きかけを行った年度	働きかけの結果、増えた女性役員数(年度)

3. 女性農業委員の登用について、農業委員会に働きかけを行ったことがありますか。ある場合はその委員会名と、働きかけの結果、増えた女性農業委員数を記入してください。

働きかけを行った組織名	働きかけを行った年度	働きかけの結果、増えた女性農業委員数(年度)

### 4. 構成員の内、女性農業委員の数

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
女性農業委員数					
全会員に占める割合%					

（備考）数に大きな変化があった場合は、その理由を以下に記入してください。

### 5. 構成員の内、女性農協理事の数

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
女性農協理事数					
全会員に占める割合%					

（備考）数に大きな変化があった場合は、その理由を以下に記入してください。

## 別紙様式Ⅱ—4—4（女性組織用） p.2

### 6. 構成員の内、都道府県・市町村議会女性議員の数

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
女性議員数					
全会員に占める割合%					

（備考）数に大きな変化があった場合は、その理由を以下に記入してください。

### 7. 構成員の内、都道府県・市町村の女性の各審議会委員の数

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
女性審議会委員数					
全会員に占める割合%					

（備考）数に大きな変化があった場合は、その理由を以下に記入してください。

### 8. 構成員の内、女性認定農業者数

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
女性認定農業者数					
全会員に占める割合%					

（備考）数に大きな変化があった場合は、その理由を以下に記入してください。

### 9. 構成員の内、家族経営協定の締結数

	平成 20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
家族経営協定締結数					
全会員に占める割合%					

（備考）数に大きな変化があった場合は、その理由を以下に記入してください。

### 10. その他特記事項



(別紙様式 I-3A)

I. 次世代を担う若手地域リーダー部門(個人)

構成員名簿(家族構成表)(被推薦者および被推薦者と家計を一にする家族について、該当する欄に記入してください)

被推薦者との続柄	氏名	年齢	性別 (○で囲む)	農林水産業従事 の有無 (○で囲む)	認定農業者、指導 農業士、指導漁業 士等の場合、名称 を記入	家族経営協定を 締結している場合 協定の締結者には ○印を記入
被推薦者				有り 無し		
夫				有り 無し		
子ども			男 女	有り 無し		
子ども			男 女	有り 無し		
子ども			男 女	有り 無し		
子ども			男 女	有り 無し		
子ども			男 女	有り 無し		
子ども			男 女	有り 無し		
義父				有り 無し		
義母				有り 無し		
実父				有り 無し		
実母				有り 無し		
その他( )			男 女	有り 無し		
その他( )			男 女	有り 無し		
その他( )			男 女	有り 無し		
その他( )			男 女	有り 無し		
その他( )			男 女	有り 無し		

\* 欄が不足する場合は、適宜補ってください。

(別紙様式 I-3B)

I. 次世代を担う若手地域リーダー部門 グループの構成員名簿※1

番号	グループにおける現在の役職	ふりがな氏名	年齢	性別 (○で囲む)	農林水産業従事の有無 (○で囲む)	本人の農林漁業経営上の立場 ※2 ※3		認定農業者、指導農業者、指導漁業者等の場合、名称を記入	家族経営協定締結の有無 (○で囲む)	家族人数
1				男 女	有 無	主 同 従			有 無	人
2				男 女	有 無	主 同 従			有 無	人
3				男 女	有 無	主 同 従			有 無	人
4				男 女	有 無	主 同 従			有 無	人
5				男 女	有 無	主 同 従			有 無	人
6				男 女	有 無	主 同 従			有 無	人
7				男 女	有 無	主 同 従			有 無	人
8				男 女	有 無	主 同 従			有 無	人
9				男 女	有 無	主 同 従			有 無	人
10				男 女	有 無	主 同 従			有 無	人
11				男 女	有 無	主 同 従			有 無	人
12				男 女	有 無	主 同 従			有 無	人
13				男 女	有 無	主 同 従			有 無	人
14				男 女	有 無	主 同 従			有 無	人
15				男 女	有 無	主 同 従			有 無	人
計		集団員数( )人 ※4 若( )人 中( )人 高( )人	平均年齢 ( )歳	男性 ( )人 女性 ( )人	有り ( )人 無し ( )人	主 同 従 ( ) ( ) ( ) 人 人 人	( )人		有り ( )人 無し ( )人	平均家族 人数 ( )人

※1 構成員が15人を越え記入が困難な場合は、役割代表者等のみの記入でも可。

※2 「主」は主たる担い手、「同」は経営主と同じ立場、「従」は従の立場を示します。

※3 農林漁業の経営主の場合は経営主と記入してください。

※4 若(30歳未満)、中(30歳～45歳未満)、高(45歳以上)とします。

# 平成25年度農山漁村男女共同参画優良活動表彰 対象者募集！

農山漁村男女共同参画優良活動表彰は、農山漁村における男女共同参画の取組の推進を図るため、次世代を担う地域リーダーとなることが見込まれている若手女性や、女性の参画を積極的に推進している組織・個人を表彰するものです。



## 1. 次世代を担う 若手地域リーダー部門

### 対象者

- 農山漁村女性が経営参画・社会参画を行っていく上で身近なモデルとなりうる取組を行っている者であり、かつ、今後地域の担い手として期待される農林水産業に従事する若手女性個人または若手女性を中心とするグループが対象となります。

### 応募資格

- 農林漁業に5年以上15年未満従事し、活動実績を有する女性で、年齢の目安として45歳未満の方（グループの場合、構成員の半数以上が45歳未満であること）

### 経営参画部門

農林漁業経営において、起業活動や経営の一部門を担うなど、経営に主体的に参画し、活動している若手女性または若手女性を中心としたグループ

## 2. 組織における女性登用部門

### 対象者

- 役員等への女性登用に積極的に取り組み、実績を有している組織・行政機関（都道府県・市町村）または個人

個人も対象になります！

（組織の例）

農業協同組合、JA女性組織協議会、農業委員会、漁業協同組合、森林組合、共済組合、生活研究グループ、JA女性部、女性農業委員の組織等

### 地域参画部門

自身の農林漁業経営を基本として、農山漁村地域における若手女性リーダーとして活動している女性または若手女性を中心としたグループ

### 応募方法等

- 都道府県、市町村、全国又は都道府県の農林水産団体等からの推薦となります。
- なお、2の「組織における女性登用部門」については自薦も可能です。
- 推薦調書に必要事項を記入し、必要書類と併せて、提出先まで提出してください。

※詳しくは、開催要領・実施要領をご覧ください。

### 応募期間

平成25年6月17日（月）から8月16日（金）まで

### 決定及び表彰

- 受賞者は、平成26年1月下旬頃に決定します。
- 表彰式は、平成26年3月6日（木）に予定しています。

### 提出先 お問合せ先

農山漁村男女共同参画推進協議会

（事務局：一般社団法人農山漁村女性・生活活動支援協会）  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館4階  
電話 03-5777-5383 F A X 03-5777-5385

## ～平成24年度農山漁村男女共同参画優良活動表彰

### 農林水産大臣賞受賞者から～

平成24年度に農林水産大臣賞を受賞されたのは次の方々です。受賞をきっかけに活動に弾みがつき、さらに今後の活躍が期待されます。今年度は、貴団体や貴市町村・都道府県からも、農山漁村の未来を担う人材や、女性登用を進めている組織・個人をぜひご推薦ください。

#### 次世代を担う若手地域リーダー部門

##### 経営参画部門



能登島赤土野菜の出荷作業

#### 高 博子 石川県七尾市

平成12年に結婚と同時に夫とともに就農。「医食同源」「身土不二」をモットーに土づくりや低農薬栽培を実践してきた。平成14年には地元農業者と「能登エコファーマーズ倶楽部」を組織してエコ農業についてのPR活動に取り組むとともに、夫婦で野菜ソムリエの資格を取得。消費者とのコミュニケーションを重視した販促活動の結果、全国のデパートやレストランに野菜を納入するに至った。平成18年には認定農業者に認定。さらに高農園の販売部門を担う(株)能登大地や、エディブルフラワーの栽培・加工販売を行う「りらく」を設立するなど6次産業化の先駆的存在でもある。

##### 地域参画部門



ハート型きゅうりで産地をPR

#### 平野 佳子 千葉県旭市

施設野菜農家に生まれ、結婚後就農。平成16年に経営移譲され、経営主として「JAちばみどり旭胡瓜部会」に参加するが、集まりに出てくる女性が少ないことに疑問を持ち、女性に呼びかけ、市場関係者への試食会などを開催し、女性よる産地PRに取り組む。また、キュウリの需要を伸ばすために、部会内に女性9人で「ハート倶楽部」を結成し、初代会長となってハート型キュウリの生産、販売促進活動等に取り組み、年間5万本を出荷。これらの取り組みを通じて、これまで男性社会であった生産組織で、女性たちが発言できる環境づくりに貢献するとともに、女性たちの農業経営への参画意識の向上に大きく貢献した。

#### 組織における女性登用部門



家族経営協定調印式

#### 遠野市農業委員会 岩手県遠野市 (農業委員会)

平成24年3月の農業委員の改選期を控え、農業委員会会長が市長、市議会議長へ女性農業委員の選任を要請した結果、市議会から3名の推薦があり、選挙委員1名と合わせて4名の女性が登用された。遠野市農業委員会では、女性による活動を重要な柱に位置づけており、全ての委員会等に女性を配置している。また女性農業委員の活動を実効あるものとするため、農業委員会会長の発案により、「女性農業委員業務検討会」を設置し、この会で話し合われたことは男性の協力を得ながら一体となった成果につなげている。



食と農と女性の会講演会

#### 曾於市農業委員会 鹿児島県曾於市 (農業委員会)

曾於市では農業委員会も参画した「曾於市男女共同参画推進会議」が設置され、審議会・委員会等への女性委員の計画的取り組みを実施している。平成23年度の改選期には、これまでの選任委員の選挙への立候補を促すとともに、新たな女性委員の選任について県女性組織等の協力を得つつ、市長・議長に対して要請活動を展開した結果、選挙委員3名、選任委員3名の計6名の女性農業委員が誕生した(改選前は3名)。農地行政活動はもとより、女性農業委員が中心となり「食と農と女性の会」を設立し、講演会、交流会等を実施して地域の活性化にも大きく貢献している。